



生命を受け過ごしてきた「人生のものがたり」がお一人お一人にあります。
この人生観や価値観を大切に「最期はどこで過ごしたいのか、どんな医療やケアを受けたいのか」を元気で、自分の意志が伝えられる間に、家族や医師・看護師・ケアスタッフ等と繰り返し話し合う取り組みをACP（アドバンス・ケア・プランニング＝人生会議）と言います。

今年度も利用者の「人生のものがたり」をお聴きし、職員と共に進めて参ります。人生の最期を自分らしく生きるために、残される家族に悔いが残らないために・・・一緒に考えていきませんか。



「住み慣れた地域で『自分らしくいきる！』」を支援します

吉田 江里（すいれん事業部副部長・医療サービス部長・リハビリサポートすいれん所長）

利用者の皆様に、住み慣れた地域での生活を安心して送っていただけるよう、お一人お一人の思いをよく聴き「自分らしさ」を大切にします。また、安心・安全にすいれんをご利用いただくために学びを深め、知識と技術の向上を目指してまいります。



馴染みの場所・ひと・暮らしの中で、 “わが家で安心して暮らせる”を支援します

若山 晃（小規模多機能型居宅介護事業所花梨 所長）



これまでの人生および暮らしの中の意向やこだわりを理解して、本人が望む生活の継続を支援します。また、本人・家族の状況に柔軟かつ即座に対応していき必要な支援を行います。在宅生活を継続するための支援をさらにすすめていくために、新たな事業所の開設を目指し、そこでリーダーシップを発揮できる人材を育成します。



お子さまの「やってみたい！」が叶えられる保育所に！

平井 周子（保育所すいれん所長）

昨年度、7名の2歳児が修了し、地域の保育園へ送り出すことができました。保育所すいれんでは、子ども・職員の「やってみたい！」「だいすき！」がたくさんつまった、わくわくする日々が送れるよう、環境を整えます。お子さまの心の安定が保護者の安心にもつながる場所になるよう保育してまいります。



ヘルパーの制服が新しくなりました！



保育所すいれん修了式



保育所かりん修了式



特定非営利活動法人ゆうらいふ

事務局

守山市立田町 1231-4

TEL：077-585-4070

【Web】<http://www.youlife.ne.jp>

【メール】info@youlife.ne.jp

お気軽に
お電話
ください

ゆうらいふ ● 居宅支援事業所 ● デイサービス ● 総合事業 ● 事務局
〒524-0214 守山市立田町 1231-4 ☎ 077-585-4070

すいれん ● グループホーム ● デイサービス ● 保育所
〒524-0001 守山市川田町 1541-4 ☎ 077-581-4606

かりん ● 小規模多機能型居宅介護事業所 ● グループホーム ● 事業所内保育所（認可）
ナースステーション ● ヘルパーステーション ● 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護
〒524-0214 守山市立田町 4135-1 ☎ 077-599-0531

銀座 ● なんでも相談 ほっとステーション
〒524-0021 守山市守山1丁目 6-3 ☎ 077-583-8100

ゆうらいふ通信

2021 年 4 月 発行

“Life Worth Living（生きるに値する人生）”の追求 を私たちの新たなスローガンに新年度をスタートします！



「Life Worth Living（生きるに値する人生）」はデンマーク福祉のスローガンです。私たちは 2017 年にデンマーク視察へ行き、この言葉に共鳴しました。
高齢になっても、病気や障害があっても、いきがいをもち、働き続けられる地域社会づくりをお手伝いしてまいります。

1. 一人ひとりを尊重し自立を応援します！
2. つながりを大切にします！
3. チャレンジを続けます！

トピックス

ゆうらいふの取り組みや、各事業所の活動、介護の情報など配信中です！



- 令和 3 年度ごあいさつ 理事長 山田 亘宏
- 法人内理事の新年度抱負
- 所属長の新年度抱負
- 新入職員の紹介（別紙）
- コラム「プロフェッショナル」（別紙）

世代交代の準備の初年度にあたり

理事長 山田 亘宏



今年も桜の花を愛でる季節が巡って参りました。日頃は、ゆうらいふの介護・保育サービスのご利用を賜り、厚く御礼を申し上げます。変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

私も数ヶ月で「後期高齢者」に仲間入りします。やはり、いい気持ちはいたしませんね。何か、お荷物を一括りにされているという違和感でしょうか？先輩諸氏のお気持ちが理解できたように思います。

その私も加齢と共に思考回路の混乱や物忘れ、忍耐力の退化など、身体・精神面からも、ゆうらいふの世代交代の時期が近づいていると感じることが多くなっております。

このような状態を自省し、この4月から、理事長の職には就きながら、「一線の経営」を30歳、40歳代の法人内理事に委ねていくことといたしました。専門職としてはそれなりの経験を有してはいるものの、経営の経験は少ない世代であります。この時期に経験を積ませることにより、次世代のゆうらいふを背負っていく人材であると判断いたしました。情熱も持ち合わせております。

現場で陣頭指揮を執りながら、経営全般に責任を持つという理事たちです。どうか、未熟なところも多々見受けられることと存じますが、大きく成長していくために温かい見守りと、一方では厳しいご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

その中で、円滑な世代交代を致し介護・保育事業を通じて、一層の地域貢献に邁進させたいという思いでございます。もちろん、私も少なくとももう数年、理事長として頑張っております。

以上、新年度のご挨拶といたします。法人内理事と所長の抱負もご覧ください。



**サービスの評価は常に市民の目線で！
職員全員で『五つ星』取得を目指しましょう♡**

専務理事 山田 登喜子

介護・医療保険改正に加え福祉八法改正により、国は自助・互助・共助を推進し、公的制度サービスを縮小しています。またサービス利用者の自己負担は毎年増え、2割・3割負担の方も増加しています。そんな中、市民の方々は「より良いサービスをより効果的に！」と選択の目を厳しくし、介護サービスの質のチェックや、満足度評価・料金の確認など、「選ぶ力」は高まっています。保険料や利用者負担が増える中、市民に選ばれるサービスの構築は必須となります。職員自身や家族も医療・介護利用者となります。

職員全員が市民目線でサービスの質の評価を行い、気づきを出し合い・ゆうらいふの全事業所のサービスの質の向上に繋げていけば、『五つ星』取得は可能です。職員全員で研鑽を積んでまいります♡

“やりがい道場” 職員、利用者の皆様の輝く姿を共に考えます！

法人内理事 津田 征志（ゆうらいふ事業部長・リハビリサポートゆうらいふ所長・運営企画）



今年4月の介護保険改正はリハビリ改正と言われています。①“栄養”に重点を置いた取り組みで「心も体も元気！」をサポートします。②入浴訓練を兼ねた入浴設備の増築を計画します。これらを軸に、一人ひとりが役割ややりがいを持ち活動的な場作りにスタッフ一同頑張ります！

また、4月より事務局を兼務し、法人全体の運営企画サービスを担当いたします。介護の業界で16年、産まれて40年とまだまだ未熟ではありますが、今まで以上に自分自身が学びと経験を重ね、切磋琢磨できるTEAM（チーム）と共にサービスの質を高めていきます。



**職員、地域の方々に
“ゆうらいふのファン”になって頂けるよう努めます！**

法人内理事 杉若 奈津美（事務局・総務）

事務局の体制強化を行います。運営企画サービス担当を置き、現場の困りごと、サービスの質の向上、お客様の声を聞きより良いサービスにつなげます。総務担当は、法人内の制度の見える化・業務の整理、効率化をし、多様で働きやすい職場づくりを推進します。勤続10年の節目に経営に関われることに感謝し、気持ち新たに人とのつながりを大切にしていまいります！



相談事業

ことわらない相談支援 法人内理事 矢原 生子（相談事業部長・ゆうらいふ居宅支援事業所長）

今年度介護保険制度改正で、業務の効率化を図っている事業所に対しケアマネの担当件数の上限が引き上げられました。ゆうらいふでは、地域の皆様から多くの相談を頂いております。今後ますます事務業務の効率化を図り「断らない相談支援」を目指すとともに、多くの地域の方の「住み慣れた地域で最期まで」の実現にお役に立ちたいと考えております。



花 梨

生活の質（QOL）と穏やかな終末期（QOD）の探求と実行

法人内理事 山瀬 芳樹（花梨事業部・グループホーム所長）

次の事を中心にチームで係わりを深めていきます。

①利用者と家族の話しに真摯に向き合う時間づくり②自分自身を知る事から始める（自分は何が得意で何が苦手なのか）③現場で自主性ある活動の実践
また、理事として、経営への理解と経験を深めていくと共に「風通しの良い組織」「自主性あふれる組織」「チャレンジできる風土」を創っていけるよう取り組んで参ります。



**みんなと一緒に楽しい♪
保護者に安心していただける保育をめざします 渡部 幸恵（保育所かりん所長）**

コロナ感染防止の中、どうしても人との関りが今まで以上に減ってきています。家族以外の人との関りのある保育所で、人とかかわる大切さ、暖かさ、心地よさを十分に経験できる保育を進めてまいります。



訪 問

「地域に看護師がいると安心」を届けます！

法人内理事予定 淵上 操（訪問事業部長・ナースステーション所長）

医療・介護サービスは市民に選ばれる時代となっています。安心して生活ができるよう、在宅サービスの窓口であるケアマネジャーと連携し、地域に根ざした信頼される訪問看護ステーションを目指します。また、これから訪問事業部をさらに拡充をさせたいと考えています。ICTを積極的に活用して、看護師と介護職と一緒に知識・技術向上のために学ぶなど、さらなる連携強化してまいります。



**訪問看護との連携で自立した生活が継続できるよう支援し
地域で選ばれるヘルパーステーションを目指します**

法人内理事予定 下野 達郎（訪問事業部副部長・ヘルパーステーション所長）

今年度は“自立した生活”とは何か？について理解を深めることを目標に掲げます。そのために、ケアマネジャー、訪問看護と連携を取り介護保険制度や疾患の理解に努め、おひとりおひとりの思いや生活に沿ったサービス提供を目指します。また、この度新しく内部理事として、広報、人材確保、人材育成を担当させていただくことになりました。職員がやりがいを持ち成長できる職場”を目標に、微力ながら尽力していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

